

議会だより しらおか Shiraoka



2 P 平成 29 年度 一般会計決算

4 P 平成 29 年度 特別会計決算

6 P 条 例・平成 30 年度 補正予算

8 P 一般質問

16P 委員会活動報告

隼人堀川と篠津小学校

※表紙のテーマは「白岡の隼人堀川」です。

No.201

2018.11.1

《9月定例会》

9月6日から10月3日までの28日間にわたって定例議会が開かれ、報告4件、市長提出議案25件を審議し、原案のとおり同意・可決・承認しました。請願1件は、継続審査となりました。

一般会計

平成29年度の主な事業

- ☆西第二児童クラブの建設
- ☆消防分団施設の更新
- ☆生涯学習センター建設工事の推進
- ☆南小学校改修工事の実施
- ☆菁莪小学校屋上防水工事の実施
- ☆小・中学校エアコン導入調査の実施
- ☆大学などと連携による特産品開発
- ☆都市計画道路白岡駅西口線用地の取得
- ☆新白岡駅西口の公衆便所を整備
- ☆大山地域及び菁莪地域の「白岡元気プロジェクト」の実施

問 市債による借り入れが増えているが、市の認識は。

答 新規に公共施設を整備するため、借り入れが増えた。公共施設が老朽化しており、改修や更新が必要である。個別施設計画を策定し、中長期的な視点を持って取り組む。

問 ふるさと納税制度を今後、どのように改善・運用していくのか。

答 総務省から通知があった影響もあり、昨年度と比較すると減少している。今後は、他市町村を参考に体験型の返戻品などを検討していく。

問 市長への手紙49件のうち多かった内容は何か。

答 最も多かったのは、「小・中学校のエアコン設置について」で、件数は5件であった。



平成29年度
一般会計決算

市の事業をチェック!!



歳入…154億5,329万5千円
歳出…146億6,205万1千円

差引額…7億9,124万4千円

※差引額には、30年度への繰越事業が含まれています。

問 のりあい交通を使いやすくすることについて、どのように考えているのか。

答 28年度に実施したアンケートと運行記録を分析して、課題を整理している。30年度からインターネット予約と昼休みとしていた時間帯の運行を開始している。

問 特産品開発の進捗状況はどのようになっているのか。

答 30年3月に試作品を300食配布し、アンケート調査を行った。現在、風味、食感などの調整や改良を行っている。本年度中に製品の完成を目指している。

問 農業・農村の多面的機能支払交付金事業について、28年度は5組織あったが29年度は4組織に減っている。理由は何か。

答 組織名は柴山活性化クラブで、交付金は200万円ほどであった。28年度をもって廃止した理由は、構成員の高齢化や後継者不足である。

問 橋梁長寿命化事業において、比較的危険度の高い橋が5つあるとのことだが、対応はどのようになっているか。

答 5つの橋のうち、昨年度は高岩橋の補修を実施し、今年度は上砂場橋を実施する予定である。順次対応することとなる。



高岩橋

問 血沼周辺地域の意向調査の結果は、公表しているのか。

答 調査対象の関係権利者には、結果を送付している。また、一般の方には、新土地利用推進担当の窓口で閲覧できるように対応している。



白岡市生涯学習センター こもれびの森

問 生活保護扶助費の削減に向けての取組や効果について伺う。

答 就労支援専門員を配置し、求職活動支援を実施している。また、29年度は30件の廃止件数のうち、12件が収入増加によるものであった。

問 要保護児童について痛ましい事件があったが、近年、市でも似たような事例はあったか。

答 市では、管轄する児童相談所管内でも、虐待に関する通報や取り扱いが少なく、ここ数年をみても、児童相談所に措置されたケースはない。

問 全国大会に出場した選手に補助金を支出しているが、出場に要した経費のうちどのくらい補助するのか規定はあるのか。

答 補助金支出に係る交付要綱があり、全国大会出場に係る補助金の上限は1万円である。オリンピックは10万円、アジア大会は5万円となっている。



反対討論

消費税は、低所得者に大きな負担がかかる逆進性の強い税です。国に対し消費税は廃止ないしは引き下げすることを求めるべきです。マイナンバー制度の普及は全国的に11.5%、白岡でも10.7%であり、このような無駄な制度は国に廃止を強く働きかけるべきです。

賛成討論

休日・夜間の納税相談を実施するなど歳入確保に努めた。「こもれびの森」建設、中学校トイレ洋式化、小・中学校エアコン導入調査、西第二児童クラブ開設、新白岡駅西口公衆トイレ整備など、市民生活に潤いを与える施策を実施しており評価するものです。

特別会計 平成29年度

～国民健康保険～

問 所在不明や帰国により不納欠損処理した件数はあるのか。

答 所在財産不明者は6人で19万5千400円、執行停止中に消滅時効となった所在不明者は7人で14万200円、5年間で消滅時効となった所在不明者は22人で84万6千円である。

～後期高齢者医療～

反対討論

この制度は高齢者の医療費削減を狙ったもので、運営主体が県の広域連合となっているため市民や議会の声が反映しにくいものになっています。広域連合の懇話会でも「剰余金を活用して保険料の上昇を抑制する必要がある」という意見が出ています。

賛成討論

保険料は、口座振替促進や電話催告など徴収努力がなされています。また、後期高齢者医療制度への財源も適正に支出されています。課題もあり、高齢者が必要な医療を受けられるよう安定した運営が望まれますが、制度は十分に定着しており、賛成します。

～介護保険～

問 虐待相談11件とあるが、11人が相談したのか。

答 11人は実人数ではなく、延べ人数である。実人数は4人であり、その内容はすべて子供から親への暴力である。

反対討論

この制度は、高齢者に対する介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会全体で支える制度として出発しました。しかし、たび重なる制度改正が行われ、一定の所得のある人

は利用料が2割負担、3割負担となりました。国が介護保険に対する責任を果たし、この制度の改善を図るべきです。

賛成討論

歳入は、介護保険料は前年度と同程度の収納率が確保され、国や県などの法定負担分については適正に財源が確保されています。歳出は、介護予防や地域高齢者を支えるための事業に取り組んでおり、本決算は介護保険制度にもとづき適正と認め、賛成します。



白岡第4中継ポンプ場

ともれびの森

～農業集落排水～

問 使用料繰越分の徴収率が52.7%と大幅に上がっているが、特別な理由があるのか。

答 大口の滞納者1名の支払いがあったためである。

～公共下水道～

問 資本費平準化のメリットは。

答 下水道施設の耐用年数と元金償還期間が異なることから、この差分について、起債の借り入れが行えるため、世代間負担の公平の観点から有効な手段と考えている。

反対討論

この事業は、市街化区域内の住環境整備、河川の浄化を目的に進められている事業で今

年度もポンプ場の改築工事などを行いました。しかし、利用する市民に受益者負担金を課したり、都市計画税の賦課などの二重負担の問題もあります。

賛成討論

市の公共下水道は、供用開始以来、着実に整備が進められ、自然環境の保全や良好な生活環境の実現に向け、役割を果たしてきており、本案に賛成します。一様に、税は納めるべき、福祉は給付すべきを原則と考えています。

～野牛・高岩土地区画整理～

問 特別保留地の処分率が97%とのことだが残る保留地の状況は。

答 未売却の特別保留地は2区画である。

<平成29年度決算・特別会計>

区分	歳入	歳出	差引額	
国民健康保険	61億2,484万1千円	57億145万6千円	4億2,338万5千円	
後期高齢者医療	5億9,112万1千円	5億8,373万2千円	738万8千円	
介護保険	33億5,649万6千円	32億1,300万円	1億4,349万6千円	
農業集落排水	8,053万5千円	7,667万円	386万5千円	
公共下水道	10億2,905万5千円	10億58万2千円	2,847万3千円	
区画整理	野牛・高岩	3,061万6千円	2,688万9千円	372万6千円
	白岡駅東部中央	1億9,906万円	1億7,503万5千円	2,402万5千円

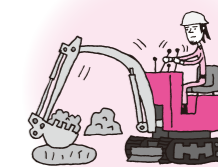
水道事業会計 (消費税を含む)	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	12億3,354万1千円	10億2,062万8千円	7,777万9千円	4億3,677万4千円

※千円未満を四捨五入しているため、差引額が一致していない場合があります。

～白岡駅東部・中央土地区画整理～

問 執行率が89.5%である。90%に満たない理由は。

答 繰越明許費繰越額と事故繰越し繰越額を別途計上するため、執行率が低くなるものである。



～水道事業～

問 石綿管を耐震管に1,514m更新したということだが、残りの石綿管の長さは。

答 29年度に更新した結果、残存延長は、1万6,751mである。

反対討論

水道事業は、給水人口も給水栓も年々増加していますが、有収率の向上は引き続きの課題になっています。経理の状況は安定的に運用されていますが、水道料には消費税が含まれており、10%への引き上げがせまっています、この転嫁には反対です。

賛成討論

水道事業は、市民に安全で安心な水道水を供給するための重要な事業であり、経理状況も安定的に適正に運用されています。市民生活や都市機能に重要なライフライン構築のため、適切に管理・運営されており、本案に賛成します。

条 例

議会の議員その他非常勤の 職員の公務災害補償等 に関する条例の一部改正

補償基礎額の上限2,000円を撤廃し、他の地方公共団体と同程度の水準にするものです。

問 補償基礎額に3区分あるのはなぜか。

答 療養に係る補償額は、区分に関係なく同様に保証される。報酬月額などに差があるため区分を設けている。

議会議員及び市長の選挙にお ける選挙運動用自動車の使用等 の公営に関する条例の一部改正

公職選挙法の改正により、市議会議員の選挙において、候補者が選挙運動のために使用するビラの頒布が可能となりました。当該ビラの作成に要する費用を公費負担とするものです。

作成単価の限度 7円51銭

作成枚数の限度 4,000枚

問 法定内得票数に満たない場合、ビラなどの作成にかかった費用負担はどうなるのか。

答 その場合は、全額候補者の負担となる。

重度心身障害者医療費支給 に関する条例の一部改正

埼玉県の重度心身障害者医療費支給事業制度が改正されたこととともない、対象者の所得制限を設けるものです。

問 現時点で所得制限の対象となる人数は。

答 29年度の受給者数は938人であり、最大5%と見込んでいる。

平成30年度

一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に1億5,313万2千円を追加し、総額を145億8,082万7千円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金や決算の確定などにより増額し、基金繰入を減額するものです。

歳出の主なものは、アクティブシニア活躍支援事業、小学校施設設備維持管理事業のブロック塀の復旧などや給食設備の修繕にかかる経費を増額追加するものです。

問 債務負担の限度額が「白岡中学校周辺区域土地利用協議会、事業化検討パートナー及び白岡市の3者で締結する協定(覚書)に定める負担額」と記載されており、青天井である。事業にも諸事で賛成できないが、予算についてもこれでは市民はいくらかかるかも分からない。

答 先般提示した金額は、あくまで概算設計にもとづく金額であり、33年度上半期までに要する業務について適切に積算している。わかりやすい債務負担行為の設定に心がける。

問 小学校施設管理事業のブロック塀修繕は、いつ完了するのか。

答 年内中には完了する見込みである。

問 白岡中学校周辺の新土地利用に関して、県の許可の見通しが立っていない根拠は。

答 県都市計画課から、圏央道ベルトの見直し方針と、40年前に作った市の土地利用計画はどうなったか、という2点を聞かれたことからである。

反対討論

高齢化、人口減の状況で大型商業施設はもはや時代の要請ではありません。また、オリンピックなどを控え、「天の時」ではありません。現在、最優先すべきは白岡中周辺開発と関連の強い白岡駅西口整備で、現段階で多額の費用をかけることには反対です。

賛成討論

小学校・保育所の危険ブロック塀の撤去・改修費用や、妊娠・出産・子育て期の支援拠点となる「子育て世代包括支援センター」の整備予算が計上されています。白岡中学校周辺区域の土地利用に係る負担金は今後注視が必要ですが、相対的に本案に賛成します。

平成30年度 特別会計補正予算

国民健康保険

今回の補正予算は、予算総額に4億338万4千円を追加し、総額を53億732万2千円とするものです。

歳入は、繰越金を増額するものです。

歳出の主のものは、総務費、保険給付費を増額するものです。

問 退職被保険者等療養費の増額補正要因は。

答 制度改正により、今年度分の予算編成方法が大幅に変わったため、早い段階で不足が生じたものです。

後期高齢者医療

今回の補正予算は、予算総額に538万8千円を追加し、総額を6億4,304万1千円とするものです。

歳入は、繰越金を増額するものです。

歳出の主のものは、後期高齢者医療広域連合納付金を増額するものです。

介護保険

今回の補正予算は、予算総額に1億5,007万1千円を追加し、総額を30億7,423万1千円とするものです。

歳入の主のものは、国庫支出金を増額し、支払基金交付金を減額するものです。

歳出の主のものは、諸支出金を増額するものです。

農業集落排水

今回の補正予算は、歳入の繰入金を減じ、繰越金とするもので、当初予算と総額は変わらないものです。

公共下水道

今回の補正予算は、予算総額に1,766万1千円を追加し、総額を12億3,712万7千円とするものです。

歳入の主のものは、国庫補助金を増額し繰入金および市債を減額するものです。

歳出は、総務費と事業費を増額するものです。

野牛・高岩土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額に342万6千円を追加し、総額を818万8千円とするものです。

歳入は、繰越金を増額するものです。

歳出は、総務管理費を増額するものです。

白岡駅東部・中央土地区画整理

今回の補正予算は、予算総額に770万円を追加し、総額を2億2,271万円とするものです。

歳入は、繰入金を減額し繰越金を増額するものです。

歳出は、事業費を増額するものです。

問 担当課長の説明の中で久喜市という発言があったが、どのような意味か。

答 工事発生土の受け入れ先として久喜市と説明したものである。

請願

運転開始から40年経つ東海第二原子力発電所（茨城県東海村）の期間延長を認めず、廃炉にすることを求める請願が提出され、付託先の総務常任委員会で採択されるべきものとしたが、本会議で継続審査となりました。

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、14名の議員が35項目について行いました。

◆鬼久保二郎 議員

- 自然災害時の給水対応は
- 市内小・中学校の現状について

◆細井 公 議員

- 商店街等の夏祭りにおける学生・生徒の熱中症対策について
- 市内公園の除草等の対策について

◆黒須大一郎 議員

- 選書基準等は、明確化されているのか
- 行財政改革推進大綱について
- 白岡中学校周辺の土地利用について

◆渡辺聡一郎 議員

- シティブロモーションの効果検証について
- 地域創造・地方創生の今後の展開について

◆大倉秀夫 議員

- 公用車等ヘドドライブレコーダーの設置を
- 高齢者の交通安全対策について

◆斎藤信治 議員

- 中学校の部活動について
- 困難を抱える子どもたちが、楽しくなるために

◆松本栄一 議員

- 新元号への対応について
- 所有者不明土地への対応について

◆高木隆三 議員

- 高齢者の多剤服用及び残薬削減で、医療費削減を
- 猛暑、豪雨など異常気象対策について

◆遠藤 誠 議員

- 下校の見守りはどのくらい行われているのか
- 「自助」「自治」の再確認
- 農業者を商工会に
- 白岡中学校周辺の開発
- 農業、農地への市の取組

◆関口昌男 議員

- 人事院勧告と市役所に働く労働者の給与改善について
- 教育を巡る諸課題について
- 白岡市のイメージアップ作戦について

◆江原浩之 議員

- オータムフェス開催について
- 聖火リレーの招致について

◆菱沼あゆ美 議員

- 防災の更なる取組を
- 健康寿命を延伸するフレイル予防の推進について
- SDGsを踏まえたESDについて

◆井上日出巴 議員

- 保育・幼児教育の無償化について
- 勤労者体育センターの暑さ対策について

◆石原富子 議員

- 市内循環バス等の復活について
- 救急医療情報キットの更なる活用について
- 増え続ける空き家の利活用について

※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。

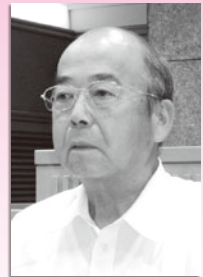
問 自然災害時の給水対応は

日本は、毎年地震や台風、豪雨など想定外の自然災害が発生し、国民が苦しみ、悲しみ、生命財産を失うなど大変な事態が発生する。災害時に大切な電気とともに、給水は大変重要である。県や国などが整備を促進している耐震性貯水槽を市は設置の考えはないか。

答 臨時の給水所を設置し対応する

災害により通常の給水が困難となった場合に備え、耐震性貯水槽に代わる仮設貯水槽を備蓄している。緊急時に避難所などで応急給水に対応し、飲料水としてペットボトル水を備蓄している。

また、各家庭での飲料水や防災用品の備蓄を啓発していく。



鬼久保二郎議員
(市民クラブ)

問 菁莪中学校の学区変更の考えはないか

現在市内には4つの中学校があるが、5月1日現在、篠津中438名、菁莪中123名、南中352名、白岡中343名である。菁莪中は他3校と比べ、3分の1の生徒数である。今後、地域で定住人口の増加が見込まれない中、教育的観点から学区変更の必要があるのでは。

答 住民意見を聴きながら慎重に対処する

学校は、地域と深く結びついており、地域のかたがたから支えられ、親しまれてきた存在である。菁莪中学校の学区変更については、地域住民の意見を聴きながら十分慎重に対処する必要があり、現時点では見直しを行う時期にはないものと考えている。





細井 公 議員
(白新会)

問 市内の公園の除草対策は

市内の公園では、入口から遊具類までの間が雑草に覆われ、安全に遊べないなどの弊害が出たと聞いている。除草作業を定期的に行っても雑草の成長速度によっては、美観保持できる期間も短い。木材チップなどの技術導入も検討課題と考えるがいかがか。

答 公園全体の維持管理を含め研究していく

例年はない猛暑の影響から、雑草が急激に繁茂し、一部の公園で利用に支障があったことは認識している。木材チップの使用については、県内での使用状況を参考に、特徴や用途、さらには費用対効果を見極めながら、公園全体の維持管理も含めて研究していく。

問 児童・生徒の熱中症対策は

酷暑のため、夏休み期間中の校内活動の一部中止など対策がなされたと聞いた。その一方で、外部主催の催事で中学生が炎天下で出演したとも聞いている。夏休み期間中の部活動、登校日など、どのように熱中症対策を行ったか。来年度以降の考えも伺う。

答 熱中症への配慮を行う

各学校では、国や県からの通知にもとづき、熱中症が予想される場合は、中止や活動制限を行うなどの対応をしている。地域の行事についても児童・生徒の熱中症などの安全への配慮について、主催者側とよく相談したうえで協力するよう指導をしていく。



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 どんなモール街が来るのか、どうなるの

地権者にも市民にも負担が掛かるのに、どこが来ているかも分からない。すでに少なくない税金も投入している白岡中周辺の新土地開発事業。その事業の必要性とそれによる環境負担やその事業負担について、説明責任を果たせるのは、市長である。回答を。

答 確固たる決意を持って取り組んで行く

商社をリーダーとする企業グループなど複数の企業から相談がある。少子高齢化、人口減少の中、本市が将来に向けて発展していくには、本区域の都市的土地利用を推進する必要がある。その推進に当たっては、自然環境に配慮した土地利用となるよう努めて行く。

問 この10年、公的料金は値上げばかり

年7,000万円税金がいる海洋センターは、半分は市外利用者、受益者負担の適正化は。効果的な業務運営の推進として、相談業務や時間外申請業務に AI などを活用し、高齢化社会を見据え、お悔やみ総合窓口の導入も。全ては、少し先の土台（行財政）づくりのために。

答 大綱は必要に応じて見直しを図る

海洋センター使用料は、31年10月予定の消費税率引上げに合わせ見直しを行う。お悔やみ総合窓口の導入は、場所の確保など現状ではむずかしい。市行財政改革推進大綱は、AIの実証実験結果や社会情勢などを的確に捉え、必要に応じて見直しを図る。



B&G海洋センター

問 移住支援について
市の考えは

白岡も今後は人口減少が予測される。将来に向けて手を打つためにUターンなど移住支援の検討が必要ではないか。補助制度による支援が考えられるが、空き家の活用や農業の後継者育成など、地域の課題解決と定住人口の増加を結び付ける政策を打ち出せないか。

答 子育て世代に向けた
施策を展開していく

引き続き、市外のイベントやSNSを通じて本市の認知度アップを図っていく。また、若年層や子育て世代に向け、ブランドメッセージ「いとあかし しらあかし」や各メディアを積極的に活用して、住環境の良さや特色ある子育て支援事業をPRしていく。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



シラオ仮面

問 白岡のPRと
ブランディングを

白岡のPRを市外に向けて強く推進していく必要がある。特に子育て世代をターゲットに市のブランディングを図れないか。シラオ仮面などによるPRだけでなく、多様な方法でのPRが必要だ。メディアとの連携や政策と一体となったブランドメッセージの発信を。

答 新たな定住支援策の
調査・研究を行う

本市では、市まち・ひと・しごと創生総合戦略にもとづいた転出抑制および転入促進に関する施策を積極的に推進していくこととしている。今後は、将来的な人口減少に対応していくため、新たな定住者に対する支援施策についても調査・研究を行っていく。

問 高齢者の交通安全対策を

高齢者の交通事故発生状況を伺う。高齢者は交通ルールに対する認識不足なのか、歩道のないところを横断したり、自転車で走行中に後方を確認せず横断したりするのが目立つ。高齢者に対する交通安全対策について、今後どのような取組を実施していくのが。

答 高齢者の交通安全対策を
推進していく

全国の交通事故死者のうち、高齢者の占める割合は、50%を超える高い状況である。市では、高齢者向けの講習会、ドライブシミュレーターの無料体験などを実施している。今後もこのような参加・体験・実践型の交通安全教育などを通じた取組を実施していく。



大倉秀夫 議員
(白新会)

問 公用車などにドライブレコーダー設置を

久喜警察署では29年度にパトカーにドライブレコーダーを設置した。この動く防犯カメラの有効性について市の認識は。市公用車や社会福祉協議会、シルバー人材センターなどが所有する車両に設置すれば交通安全と防犯対策も兼ねる。市の働きかけの検討を。

答 計画的に設置を
進めていく

公用車は、市内各地域をくまなく走行するため、交通安全面だけでなく、防犯面についても大きな効果が期待できると認識している。関係団体に対し、交通安全や防犯に関するドライブレコーダーの貢献度を伝え、設置についても機会をとらえて依頼していく。





齋藤信治 議員
(開白会)

問 SSWが学校で働けるようにしよう

教育支援センター在籍のSSW（スクールソーシャルワーカー）は、困難な子どもたちと向き合うのが役目。しかし、福祉的な立場なので教員とは異質な存在である。働き易くするために、学校環境を見直し、普段から子どもたちと触れ合うようにできないか。

答 SSWの役割を学校に周知し活用を図る

2名のスクールソーシャルワーカーで市内10校を効率的に支援するため、教育支援センターに配置している。今後は定期的に各学校を訪問できるようにし、スクールソーシャルワーカーと学校との緊密な関係を築くとともに、その役割をさらに周知していく。

問 中学校部活動の在り方を変えよう

部活動は、教員の長時間労働の大きな原因である。教員なしで指導や大会に引率できる『部活動指導員』の導入を図れないか。

また、県や文科省の意向に沿った、学校の枠を超えて市内の部活動を自由に移動できるクラブ制への移行を推進できないか。

答 部活動指導員の導入について検討を図る

学校教育の一環としての部活動の位置付けおよび地域の実態と合わせ、部活動指導員の導入について検討していく。クラブ制への移行については、生徒の安全管理、適切な指導者の任用など、活動の機会確保と充実の方策を、他自治体の動向も参考に研究を進める。



ある日の部活



松本栄一 議員
(創政会)

問 所有者不明土地への対応は

所有者不明土地は、全国各地で多くの障害を発生させている。都市計画道路事業・土地区画整理事業などに支障があったか。諸問題の対策のため、所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法が成立、公布された。今後の事業に活用すべきだが、市の方針は。

答 特別措置法を調査研究し活用していく

所有者不明土地は、用地取得をともなう道路事業や、土地区画整理事業などを推進していくうえで支障となる。市の事業では土地区画整理事業で1件存在したが、法令にもとづき対応した。今後は特別措置法の施行にあわせ調査研究し、事業推進に活用していく。

問 新元号への対応は

平成の改元時は、準備期間がなかったが、今回は2019年5月1日と決まっており、すでに準備中の自治体もある。システム変更数、各種帳票類の把握、予算などの準備は。改元は今後もあり得るが、改修の作業や費用削減のため、西暦の使用を拡張する考えは。

答 新元号対応状況および西暦表記について

修正する電算システムは15種類で1,142帳票。当初予算に1,665万4千円計上した。修正作業は今年度中に完了させる。計画書や国際関係文書などは、西暦表記が適している場合もある。今後は、国や他自治体を参考に、西暦の表記について検討する。



問 猛暑・豪雨などの異常気象対策は

今夏の日本列島は、異常気象に見舞われた。7月の平均気温は平年を2.8度も上回り、統計開始以来最高を更新した。当市における市民への対応は。また、学校現場での対応と今後の対策は。また、生活保護受給者へのエアコン購入の対応について問う。

答 状況を注視し適切な対策を実施する

熱中症対策として、広報・防災無線などによる注意喚起を実施していく。学校においては、国や県の通知にもとづき、適切に対応していく。また、生活保護受給者に対しても冷暖房器具の設置費用などを扶助するなど、関係各課が状況を注視し対応していく。



高木隆三 議員
(公明党)

問 高齢者の多剤服用と残薬削減対策は

厚生労働省は、薬の適正使用を求めるガイドラインをまとめた。処方薬の飲み残しは年間500億円である。有効活用するため、横須賀市薬剤師会は回収バッグを作成配布した。結果、約275万円の残薬を再利用し、医療費削減につながった。当市でもシステム作りを。

答 薬剤師会と連携して対策に取り組む

市薬剤師会の保険薬局において、患者から提供された残薬を「お薬手帳」で確認し、処方した医師の了承を得て、残薬の調整を実施している。市は、残薬の再利用の推奨および内服薬の自己管理のための「お薬手帳」の活用について周知啓発に努めていく。



問 農業に対する考え方を変えては

農業者も商工会に加入し、商業の持っている商品開発、販売促進、税務経理を吸収したらどうか。また、農商の垣根をなくすようにしたらどうか。農業経営にもプロデュースが大切で、貸農園など農業以外の人たちの力を借りて農地の維持保全が可能になるのでは。

答 効果的な経営手法を提示していく

商工会への加入は、今後も商工会や関係機関と連携し多くの業種に呼び掛けていく。農業経営として、農業法人などへの利用集積を進め、経営規模の拡大を図ることが第一と考える。大規模耕作に向かない農地などは、小規模市民農園としての活用も有効と考える。



遠藤 誠 議員
(無所属)

問 下校の見守りの効果を再度知らせては

このごろの小学生をめぐる事件を見ると、地域の人々が下校する児童を見守る意味は大きい。事件の抑止力として再評価したらどうか。また、白岡市を子育て世代が住みたい、住み続けたいまちの重要な鍵にできるのではないかと。

答 安全確保に向けた体制の整備充実を図る

小学校の授業日すべてで、ボランティアによる登下校の見守りが行われている。今後は、地域とともにある学校づくりを進めるため、学校関係者、保護者および地域のかたを構成員とする学校運営協議会を順次設置し、安全教育を含めたよりよい教育の実現を目指す。



下校の見守り



関口昌男 議員
(日本共産党)

問 市職員の給与改善の取組は

今年の市職員の給与改善については、人事院勧告や最低賃金の改定がされているが、どのように改善する考えか。特に、非常勤職員の処遇改善について、給与改善だけでなく休暇などの改善にも努めるべきではないか。また、会計年度任用職員制度の検討状況は。

答 給与改定、賃金の引上げなどを実施する

人事院勧告を受け、国会での法改正後に、職員の給与改正条例を議会定例会に上程する。最低賃金の改定にともない臨時職員の賃金を引き上げるほか、休暇を含めた勤務条件について適切な措置を講じていく。会計年度任用職員制度は、課題の整理、検討をしている。

問 教育を巡る諸課題の取組は

市教育委員会は部活動指導のガイドラインを作成し、教職員の働き方改革に取り組んでいるがその成果は。また、国のさまざまな改善策はどのように導入されているか。さらに、学校給食の無料化の取組を進め、学校施設のすべてで冷房化をすべきではないか。

答 諸課題については適切に対応する

部活動指導のガイドラインはおおむね適正に運用されており、業務改善につながっている。また、国の制度も積極的に活用していく。給食費の完全無償化はむずかしい。暑さ対策は、給食室は何らかの対応が必要であり、体育館は他市町村の動向を注視していく。



江原浩之 議員
(隼人)

問 オータムフェス開催は

オータムフェスが、こもれびの森を拠点として、市内各所で行われているイベントなどを集約し、同時に開催してはどうか。今後、オータムフェス、市では、こもれびの森まつりと名称を付けているが、どのように展開していくのか。また、周知については。

答 イベントを集約し、開催していく

社会福祉協議会、シルバー人材センターと学び支援課で調整を行い、こもれびの森まつりとして生涯学習センターで開催していく。今後は、既存のイベントなどの見直しをはじめ、創意工夫を凝らししていく。周知については、市ホームページや広報紙などを活用する。

問 聖火リレーの招致を

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開幕まで2年を切った。日本国内すべての都道府県を聖火リレーすると聞くと、聖火リレーの概要と、県内のルート選定は。次に、聖火リレーの招致について、市は、どのような取組を行っているのか。

答 本市での聖火リレー実現に向け努力する

県内の聖火リレーは、2020年7月7日から9日までの3日間行われ、県内ルートは埼玉県聖火リレー実行委員会が選定する。市では県知事に対し本市が聖火リレーのルートに選ばれるよう要望書を提出した。引き続き、本市での聖火リレー実現に向け努力する。



問 フレイル予防の推進は

加齢にともなう虚弱状態をフレイルと名付け、その予防に「食事・運動・社会参加」の3つを柱にした取組がある。健康寿命の延伸に寄与し、医療・介護の費用軽減の効果も期待されている。介護予防事業などで推進をしてはどうか。

答 社会参加に関する情報を提供していく

当市の介護予防事業は、フレイル予防の項目を含め、高齢者の生活機能向上に向けて取り組んでいる。今後、簡易なフレイルチェックの方法を、既存事業や出前講座などで紹介するとともに、機会を捉えて高齢者に対し社会参加に関する情報を提供していく。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)



想定浸水深標識

問 災害から命を守るまちづくりを

災害時の避難を促すため、ハザードマップの活用方法の周知や、浸水の可能性のある地域の電柱に想定浸水深標識を設置すること、個人や家族のマイ・タイムライン(時系列の避難行動表)の導入推進をしていくべきではないか。

答 避難を促す取組を推進していく

ハザードマップは、想定被害状況のみならず、避難情報や災害情報の入手方法などを掲載している。また、想定浸水深標識の設置など迅速な避難行動につながる効果的な施策を調査研究していくとともに、マイ・タイムラインの作成についても周知・啓発していく。

問 保育・幼児教育の無償化

閣議決定された保育・幼児教育の無償化はいつからか。対象児の年齢や所得制限、認可外など内容は。無償化になれば入所希望者が増えると思うが、施設や保育士などの人材確保策は。財源は消費税増税分を充てるというが、市の負担はどれくらい増えると考えるか。

答 無償化の経費は、国において負担を

無償化は、31年10月から、3歳児から5歳児までの利用料が対象となる。施設は次期計画にもとづき整備、保育士の確保は処遇改善など国に要望、県の人材バンクを活用していく。市の負担は約1.7億円の見込みだが、国において負担するよう要望していく。



井上日出巳 議員
(創政会)



勤労者体育センター

問 勤労者体育センターの暑さ対策

市で唯一の市民体育館ともいうべき勤労者体育センターのアリーナは、風の通りが悪く、夏場は著しく高温になり、暑くて利用者に不評である。利用者の運動中の健康管理や熱中症予防のためにも、せめて冷風機などの設置が必要と思われるが市の考えを伺う。

答 暑さ対策を実施していく

勤労者体育センターのアリーナの利用者が、快適に利用できるよう、暑さ対策を実施していく。対策として、こまめな窓の開け閉めや空気を滞留させないための大型扇風機の活用、また、冷風機の設置についても前向きに検討していく。



石原富子 議員
(開白会)

問 公共交通のありかたを問う

超高齢社会に入り、公共交通がますます重要になってくる。10年後20年後に備え、今から考えていくべきときだ。今、循環バスの復活を望む声も高い。また、移送支援やスクールバスの混乗など、社会のニーズに対応した柔軟な策が望まれる。視野を広げ検討しては。

答 のりあい交通を基軸として努力したい

交通弱者のかたがたの移動手段の選択の幅を広げる必要性は認識している。今後は、市民の意見を聞きながら、国が実施する実証実験などを注視し、社会情勢の変化を的確に捉え、のりあい交通を基軸とした公共交通の充実に向け努力したい。

問 救急医療情報キットの活用を

「命のボタン」とも呼ばれるこのキットは、緊急時に医療情報がわかり、大変役立つものだが、周知されていない。高齢者のいる全世帯に配布し、利用を定着すべきではないか。また、外出時に安心なキーホルダーなど、積極的に高齢者の命を守る取組はどうか。

答 高齢者の状況に応じた対策を講じる

健康状態に不安があるなど、救急医療情報キットを必要とされるかたに配布できるよう整備し、普及に向けチラシを配布するなど対応していく。また、先進事例を参考に、見守りキーホルダーの実施に向けた検討など、より良い対策を講じていく。



救急医療情報キット

県4区議長会議員研修会

「市民は何を望むのか？」～ニーズの把握と連携の可能性～

7月26日 吉川市

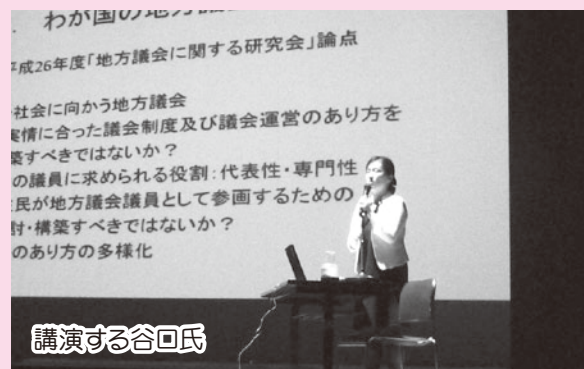
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授の谷口尚子氏を講師に迎え、講演が行われました。

講演会では、地方議会の課題から、「集中専門型」と「多数参画型」の2つの議会の在り方について説明がありました。集中専門型は、専門的議員が前提で、多様な住民から任意抽出された議会参画員が制度の上で効果があること、多数参画型については、非専門的議員が前提なので、参加のハードルを下げる必要があることなどが説明されました。

また、課題や問題点として、集中専門型は、少人数に権力が集中するので、むしろ議会が硬直化するのではないか、多数参画型については、執行部に権力が集中し、議会機能の縮小につながるということでした。これらから、現在は、批判的意見および推進的意見の両方がある

り、幅広い意見を収集し、反映させていくことが必要であり、また、住民参画法の検討が必要とのことでした。

市民ニーズを把握する方法の説明もあり、市民の個性を活かすことで、今後、市民との連携の可能性を広げられることが理解できた講演会でした。



講演する谷口氏



委員会活動報告 先進地などへ視察調査

総務常任委員会

均衡ある地域発展を目指して

7月11日 ————— 企画政策課

大山地域と菁莪地域の両地域は、人口減少と高齢化が顕著となっており、地域の活性化が求められています。そのため、29年度から慶應義塾大学SFC研究所と連携し、さまざまな取組が始まっています。各プロジェクトは、学生が地域に密着し、住民とコミュニケーションを図りながら進められています。

特に、リヤカー隊プロジェクトでは、慶應義塾大学の元気な若い学生が、自らリヤカーを引き、イベントに出向きネギなどを販売しています。

また、菁莪地域では、さまざまな世代の人が集まり料理を作ったり、一緒に食べたりすることで地域の人との交流を深める「菁莪元気食堂」を開催しています。

大山地域では、大山小学校を核とした、地

域活性化のイベントや動画制作に取り組んでいく予定です。

当プロジェクトの課題は、学生がプロジェクト期間を終えた後も、継続した取組ができるかという点であります。地域住民はもちろん、中心部や市外の人にもPRし、当プロジェクトに関わる人間を増やしてほしいと願います。

そのためには、議会や市も市民や学生が活動しやすいよう、環境整備やバックアップに努める必要があると考えます。



文教厚生常任委員会

介護保険制度を学ぶ

7月18日 ————— 高齢介護課

介護保険制度は、少子化や核家族化などの社会現象が進む中では、互助の精神にもとづく制度の充実が図られる必要があります。

篠津・大山圏域の地域包括支援センターは、団体の総会や昼食会、体操教室、子ども食堂での利用など、介護事業をはじめ、多方面の活動に開放されています。これらの利用を通じて、さまざまな地域や年代の交流にもつながっています。

一方で、介護保険サービスの負担割合が3割になるかたが出てくるということで、今後に対する不安を感じます。総合事業へのサービス提供の確保がしっかりされなければならないのはもちろんのことですが、複雑化するこの制度で、しっかりしたサービスを受ける

ためには、ケアマネジャーと連携を図り、自分にとってどのサービスが適切で、快適かというサービス内容を知ることが必要であると理解できました。

今後、安定した制度運用のためには、費用を増加させないことが肝要です。そのために、個々が介護予防に気を遣い、総合事業などを活用しながら、健康寿命を延ばす努力をしておくことが、自分にも社会的にも必要であると考えます。



明和町では、梨農家の後継者育成を視察しました。ここでは、梨への熱意をとあ



シティブロモーションに大変力を注いでいますが、20年ほど前から梨の産地としての存続の危機を懸念し、新規就農者の獲得や農家子弟の経営継承への支援に取り組んでいます。

梨栽培は、熟練した技術を要し、経営が成り立つまで複数年かかるため、梨農家の高齢化や後継者不足は、梨農家単独での取組では解決できず、梨産地共通の課題となっています。

当市においても、歴史ある白岡の梨を存続させるため、県や民間企業などと協力・連携して後継者育成に取り組むことが重要であると考えます。

渋川市では、多面的機能支払交付金の活用を視察しました。この八



崎第三地区環境保全協議会では、地元の有志が先導して組織を立ち上げ、地域の方も協力して、地区の環境保全や景観美化、遊休農地活用に取り組まれており、多面的機

能支払交付金を有意義に活用しています。

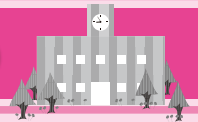
農地は洪水調整機能、環境機能をあわせ持ち、農業は食糧やコミュニティ活動などに関する学習機能を持っています。

農地や農業、それにまつわる機能をうまく活用して、地域の国土環境を保全していくことは誰もが負担すべきことであります。個人所有の農地管理という概念はありますが、その枠を超えて地域環境を整えていくことも必要であり、そのための一つの手法である多面的機能支払交付金制度を、市はさらにPRして推進を図るべきであると考えます。また、地域をよくしていくためには、コミュニティのまとまりも大切であり、リーダーの存在が必要であります。今後は、人材発掘・育成なども課題であると考えます。

現在建設中の八ッ場ダムでは、河川管理を視察しました。ここは、利根川水系の大規模水害を防ぐため、重要な役割があります。近年、異常気象が頻繁に発生し、集中豪雨の発生頻度はさらに多くなると考えられます。もはや、異常気象は常態化しつつあるとさえ感じます。当市においても、降雨状況によっては大規模災害発生への恐れがあることから、減災に備えて河川の泥さらいやのり面の強化、土手のかさ上げなどを行い、豪雨災害・水害に対する防災力を高めていくべきであると考えます。



議会で南中学校を視察（エアコン導入設置事業）



9月14日の定例会終了後、9月から稼働をはじめた小・中学校へのエアコンの設置状況の確認を南中学校において実施しました。

機器の概要説明を受けた後、エアコンが稼働している教室を視察しました。子どもたちから、「体育で汗をかいた後、とても快適です。」との声がありました。また、運用についての要望などが出されました。

エアコンはリース契約を結んだ業者が設置し、期間は13年間で、金額は、8億8,891万7,328円なので、年額は6,837万8,256円になります。市内10の小・中学校に設置されたエアコンの台数は333台です。快適な学習環境を確保するために設置されました。



《9月定例議会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対)

議席番号・議員名	議席番号・議員名																		議決結果
	1 井上日出巳	2 渡辺聡一郎	3 関口昌男	4 齋藤信治	5 松本栄一	6 細井公	7 大島勉	8 遠藤誠	9 黒須大一郎	10 大高馨	11 鬼久保二郎	12 野口克博	13 石原富子	14 大倉秀夫	15 江原浩之	16 菱沼あゆ美	17 高木隆三	18 藤井栄一郎	
固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議会の議員その他非常勤の職員の仕事災害補償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議会議員及び白岡市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度	一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	野牛・高岩土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	白岡駅東部中央土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	平成29年度	一般会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
野牛・高岩土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
白岡駅東部中央土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛否認違

※ 18番 藤井栄一郎議員は議長のため、採決には加わっていません。

議会日誌

8月

31日 議会運営委員会

9月

6日 第3回議会定例会
10日 第3回議会定例会
11日 第3回議会定例会
12日 第3回議会定例会
14日 第3回議会定例会

議会広報常任委員会

19日 産業建設常任委員会
20日 総務常任委員会
21日 文教厚生常任委員会
25日 産業建設常任委員会
26日 総務常任委員会
27日 文教厚生常任委員会

10月

1日 議会広報常任委員会
3日 議会運営委員会

第3回議会定例会

全員協議会臨時会

4日 埼玉東部消防組合議会の定例会
5日 蓮田白岡衛生組合議会の定例会
9日 議会広報常任委員会
15日 埼玉東部消防組合議会の定例会
16日 議会広報常任委員会
18・19日 総務常任委員会の行政視察
25日 全員協議会
30日 産業建設常任委員会の所管事務調査

編集後記

市のシンボルとなるすばらしい生涯学習センター「こもれびの森」が開館しました。広く明るい施設はここに集う人々を元気にします。議会だよりの編集も明るく、元気に取り組んでいます。皆様の感じられたことなど、何なりとお知らせください。一層親しまれる議会だよりにしていきたいと思ひます。(細井)

9月定例議会傍聴者数

本会議	市内 67名	市外 1名	合計68名
委員会	市内 3名	市外 0名	合計 3名

次回の定例会は **11月29日(木)** 開会予定です。